

AE シール 施工要領書

(令和3年版)

株式会社アイゾールテクニカ

【本施工要領書の適用範囲】

本資料は、橋梁上部工の伸縮装置取り換えに伴う、既存コンクリートはつり面の防水・表面補修工用途において、「AE シール」を施工する場合に参照する施工要領書です。

【施工前の注意事項(施工下地)】

既存伸縮装置撤去後のコンクリート下地の状態は、「AE シール」の塗布効果に直接影響を及ぼしますので、次の点に注意して施工を行なってください。

1. コンクリートはつり処理後は、集塵機やブロワーを使用して十分に埃、粉体、コンクリート片を除去してください(写真1)。
2. はつり面表面から確認できないクラックが生じていますので、ハンマーでたたき確認を行い、浮いているコンクリート片や脆弱部は除去するようにして下さい(写真2)。
3. 「AE シール」は、水性塗料のため含水率などの下地の水分管理(水分率)は設定していません。ただし、塗布後早期に乾燥して次の工程に早く移れるよう、表面が乾燥していると視認できる状況のもとでご使用ください。下地が濡れている場合は、ブロワーやバーナーなどで強制乾燥させてください(写真3)。
4. 鉄筋の防錆が必要な場合については、「AE シール」を塗布する前に防錆剤(ペーストタイプなど)を塗布するなどして、防錆工を実施してください。また、防錆剤が乾燥してから、「AE シール」を塗布してください。



写真1 下地処理状況



写真2 はつり面確認状況



写真3 はつり面乾燥状況

【AEシール施工時の注意事項】

●使用材料

| 項目 | AE シール | |
|-------------|--------------------|-----------------|
| | A 液 | B 液 |
| 主成分 | 脂肪族ポリアミン | エポキシ樹脂 |
| 荷姿 | 18 kg/缶・4 kgボトル | 18 kg/缶・4 kgボトル |
| 性状 | 黄色液体 | 白色液体 |
| 密度 | 約 1 | 約 1 |
| PH | 9.5 | 8.5 |
| 可使時間 | A 液・B 液を混合後、2 時間程度 | |
| 有機溶剤の使用 | なし | なし |
| 消防法による危険物区分 | 非危険物 | 非危険物 |

●混合割合

A 液:B 液=1:1（重量比）

●標準塗布量

0.4 kg/m²（設計材料ロス 5%）

●施工方法

1. 既設伸縮装置の撤去後のコンクリートはつり面に「AE シール」を塗布します。
2. 材料の保管は直射日光の下に置くことなく、室内や日陰部（20～25℃程度の常温環境下）にて行ってください。
3. 降雨が予想される場合は、施工をしないでください。
4. B 液（白色液体）は材料の特性上、成分が沈殿しやすくなっていますので、混合前に容器をよく振り、攪拌機を用いるなどして十分に攪拌してください（30 秒程度）。
5. A 液とB 液を 1:1（重量比）で混合して、攪拌機を用いるなどして十分に攪拌してください（1 分程度）。

6. 混合攪拌後の可使用時間は2時間です。2時間以上経過した混合液体は使用しないでください。

7. 攪拌後、刷毛や幅15cm以上の中長毛ローラーを使用して塗布してください（写真4）。

8. 通常は「AEシール」の1回塗布です。ただし下地の状態によっては「AEシール」の吸込が少ない場合がありますので、標準塗布量を満足できるように塗布回数を増やしてください。

9. 塗布面に混合液体が溜まっている状態のままでは反応・硬化しないため、刷毛で液体を伸ばすなどして、薄く広げてください。

10. 材料のロス率は5%程度です。

11. 乾燥時間は、30分～2時間程度です（気温5～25℃、湿度30～70%RHの場合）。

12. 早期乾燥を促す場合には、送風機やヒーターなどを使用して、乾燥を促進してください。

13. 気温が5℃未満になることが予想される場合は施工を見合わせてください。

14. 開封後は缶を密封し1カ月以内にご使用ください。その際も保管方法にご注意ください。



写真4 AEシール塗布状況